

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： うつ病を予防するセルフマネジメントシステムの構築
2. 研究代表者： 毛利 彰宏（藤田医科大学 大学院医療科学研究科 分野教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、生体試料により、うつ病発症過程での遺伝的要因および環境的要因を明らかにし、うつ病の発症前の早期発見可能な簡易測定デバイスを開発し、生活習慣の改善によるセルフマネジメントシステムの構築を目指す研究である。

フェーズ 1 は、スクロース摂取がうつ様行動につながるメカニズムの解明、運動習慣などによる抗うつ効果について成果が得られた。食・運動、産後うつにおける事象分析とトリプトファン代謝のキヌレニン経路に着目し検証を進め、脳と血液のトリプトファン代謝産物の挙動が異なることを発見した点は評価できる。また、論文も多数発表されている。

フェーズ 2 は、フェーズ 1 で得られた成果をもとに、幅広い展開を計画しており、基礎検討からヒトへの橋渡しに関して、より丁寧な検証に立脚した、簡便に測定可能なバイオマーカーの開発に期待する。

以上